-般力学演習 第7回 エネルギーと仕事 2013年5月27日

担当:佐藤 純

問題 1

以下の物理量は何を表すか。位置、時間、速度、加速度、力、エネルギー、無次元量、の中か ら選べ。ただし、 ℓ は単振り子の糸の長さ、q は重力加速度、t は時間、m は質点の質量、x は 質点の位置、 ω はバネ定数 k のバネの単振動の固有振動数 $\omega=\sqrt{rac{k}{m}}$ を表すとする。

- (1-1) $2\pi \sqrt{\frac{\ell}{a}}$
- (1-2) $\frac{1}{2}gt^2$
- (1-3) $mx\omega^2$
- (1-4) $\frac{1}{2}m\omega^2x^2$
- (1-5) mgx
- (1-6) gt
- (1-7) ωt

問題2

単振り子の振れ角 θ に対する運動方程式は、以前やったように

$$\ell\ddot{\theta} = -q\sin\theta\tag{1}$$

で与えられる。両辺に $\dot{\theta}$ をかけて一回積分することにより、エネルギー保存則

$$\frac{1}{2}mv^2 + mgy = 定数$$
 (2)

を導け。ただし、おもりの速度は $v=\ell\dot{ heta}$ で、おもりの高さは $y=\ell(1-\cos heta)$ で与えられること を用いてよい。

問題3

摩擦のない半径 ℓ の球面の頂上から、質量 m のおもりを初速度 v_0 で滑り落とす。鉛直上向きに z軸を取り、球の中心をz=0とする。

- (3-1) おもりが高さ z の位置まで滑り落ちた時の速度 v を、エネルギー保存則から求めよ。
- (3-2) そのとき、球面がおもりに及ぼす垂直抗力を求めよ。ただし、速度 v の円運動するおも りの加速度の中心に向かう方向の成分は v^2/ℓ であることを用いてよい。
- (3-3) 球の頂上からそーっとおもりを落とすとき $(v_0=0)$ 、おもりはどの地点で球面から離れ るか?
- (3-4) 球面上を全く滑らずにいきなり球から飛び出すためには、 v_0 はいくつ以上にする必要が あるか?
- (3-5) おもりが球面を離れるまでに、球がおもりになす仕事を求めよ。